

〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、12～21℃台を示し、平年並みの水温でした。

〔漁況概要〕

- 中小型まき網――一月夜間とシケで出漁日数が少なかった。西彼地区では、マサバなどが1日1統当たり4.1トンの水揚げで、前週の1.9倍（前年を上回った）。五島奈留地区では、マアジなどが1日1統当たり1トンの水揚げ（前年並み）。北松南部地区では、マサバなどが1日1統当たり1.1トンの水揚げで、前週並み（前年並み）。
- イカ釣――一月夜間とシケで出漁日数が少なかった。スルメイカは壱岐勝本地区では1日当たり105kgの水揚げで、前週の28%（前年を下回った）。ケンサキイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり6kgの水揚げで、前週の30%（前年を下回った）。壱岐勝本地区では、1日当たり64kgの水揚げで、前週の37%（前年を上回った）。
- 定置網――五島魚目地区では、ブリなどが1日1統当たり160kgの水揚げ。対馬西岸地区では、ブリなどが1日1統当たり198kgの水揚げ。対馬東岸地区では、ケンサキイカなどが1日1統当たり65kgの水揚げ。

〔日本海スルメイカ情報〕

今期（12/15～12/20の6日間）沖合イカ釣（船凍船）は、隠岐諸島北沖～竹島沖で操業するも荒天となり各地入港。

沿岸イカ釣（氷蔵船）は、壱岐・対馬及び能登半島沖で操業。

鳥取県西部（沖合船）入港船なし。

（漁業情報サービスセンターより）

〔お知らせ〕

次回の漁海況週報は、令和4年1月14日（金）発行になります。

漁海況通信「第3-35号 五島灘・五島西沖・壱岐水道・対馬東水道の観測結果」「第3-36号 6県ケンサキイカ情報（令和3年10月号）」を発表しました。

漁海況週報や漁海況通信は、長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」からご覧いただけます。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>